

奈良公園交通社会実験の実施

実験日：10/31 (土)・11/1 (日)・3 (火 (祝))

—平成20年度第3回委員会資料より抜粋・追記—



本年度社会実験の実施メニュー

【渋滞対策：来訪交通】

公共交通への転換

種々の媒体を活用した広域的な広報の実施

P&R利用の促進

国道24号高架下・市役所・奈良阪での駐車場設置

無料シャトルバスの運行

種々の媒体を活用した広域的な広報の実施

奈良公園周辺駐車場への誘導

駐車場案内システムの改良

リアルタイム所要時間情報の提供

【渋滞対策：通過交通】

広域的な迂回喚起

広域的な広報による事前周知徹底

リアルタイム所要時間情報の提供

【奈良公園の魅力向上】

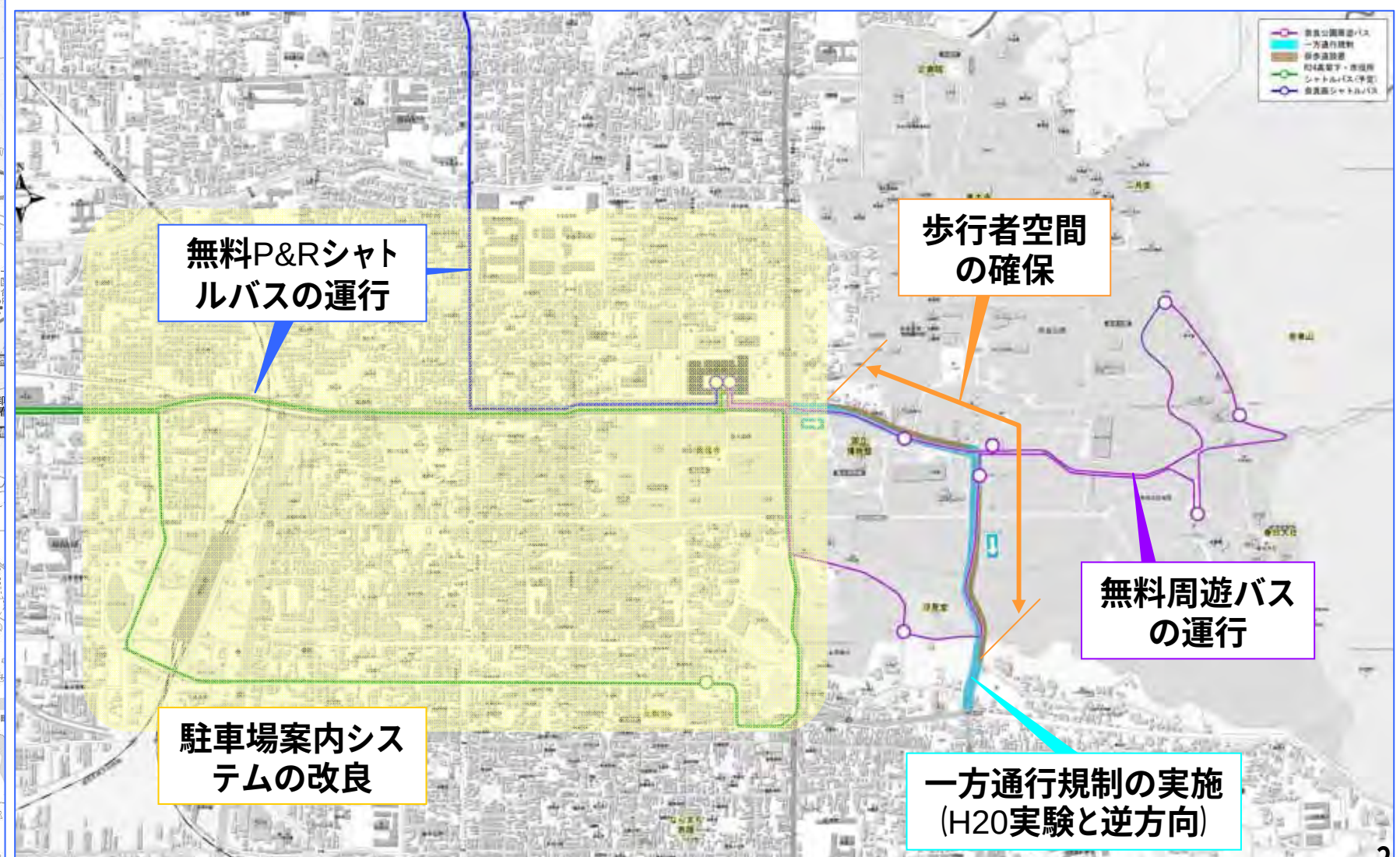
回遊性向上

公園内周遊バスの運行

公園らしい 雰囲気醸成

歩行者空間の確保

一方通行規制の実施



交通誘導計画の基本的考え方

■来訪交通に関する交通誘導計画

STEP1 公共交通等への転換誘導

奈良市への自動車交通量の流入を抑制するために、公共交通等への転換を誘導

【誘導媒体】チラシ・ポスター、ホームページ、県・市広報誌での誘導

STEP2 P&BR駐車場への誘導

奈良市中心部への流入の抑制を図るため、P&BR駐車場に積極的に誘導

【誘導媒体】道路上設置看板・横断幕、道路情報板、LED情報板、チラシ・ポスター、ホームページ、JARTICラジオ、県・市広報誌

STEP3 奈良公園周辺の駐車場への誘導

P&BR駐車場を利用しない来訪交通に対して、奈良公園内への流入を抑制するため、奈良公園周辺駐車場へ誘導

【誘導媒体】駐車場案内システム、道路情報板、道路上設置看板・横断幕、LED情報板、チラシ・ポスター、ホームページ

■通過交通に関する交通誘導計画

STEP1 国道24号等への迂回喚起

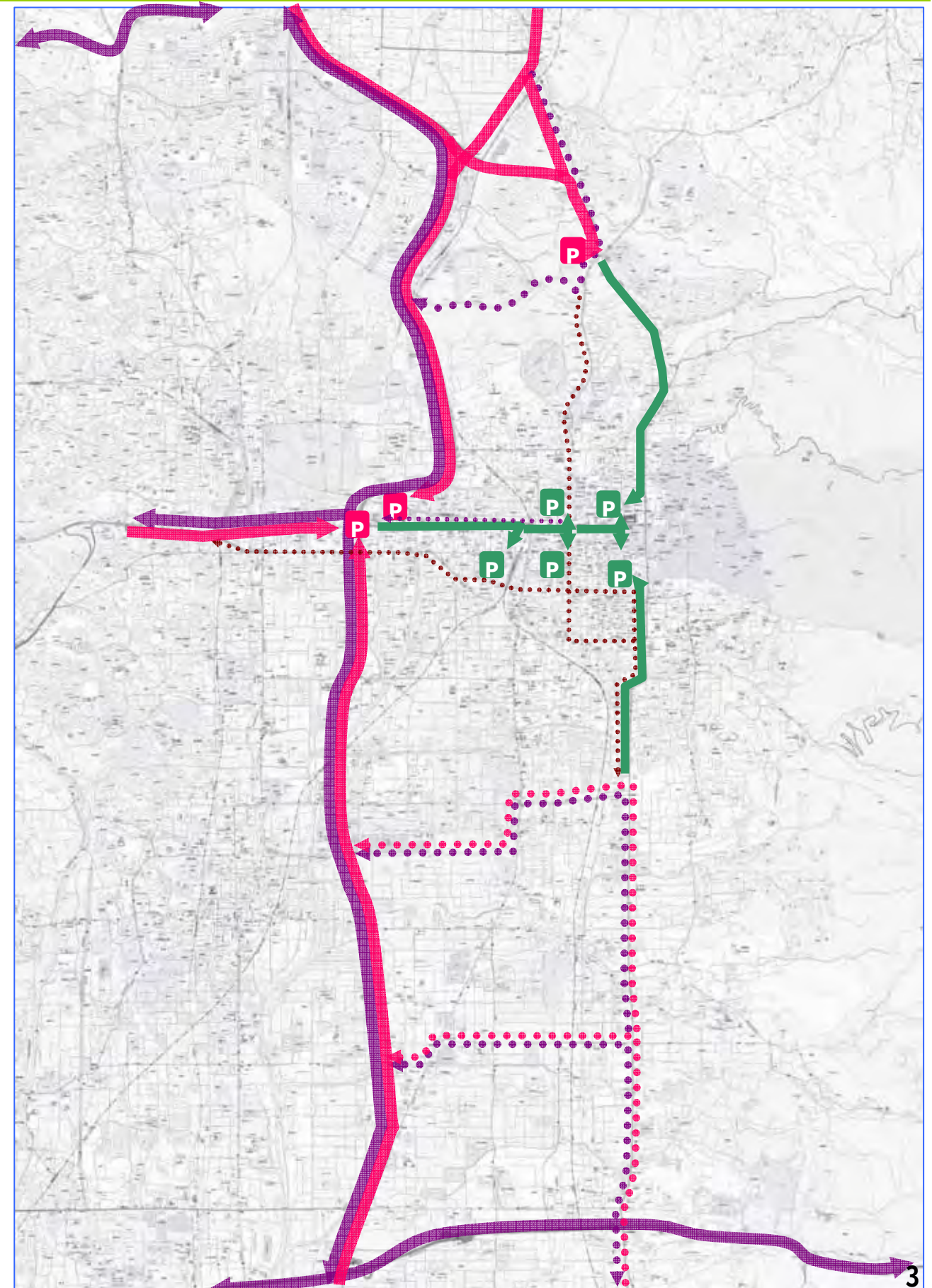
中心市街地内における通過を抑制するため、国道24号等への迂回を喚起

【誘導媒体】チラシ・ポスター、ホームページ、道路上設置看板・横断幕、道路情報板、LED

STEP2 県庁東交差点の迂回喚起

奈良市中心部（特に県庁東交差点）における通過を抑制するため、迂回ルートを示した迂回を喚起

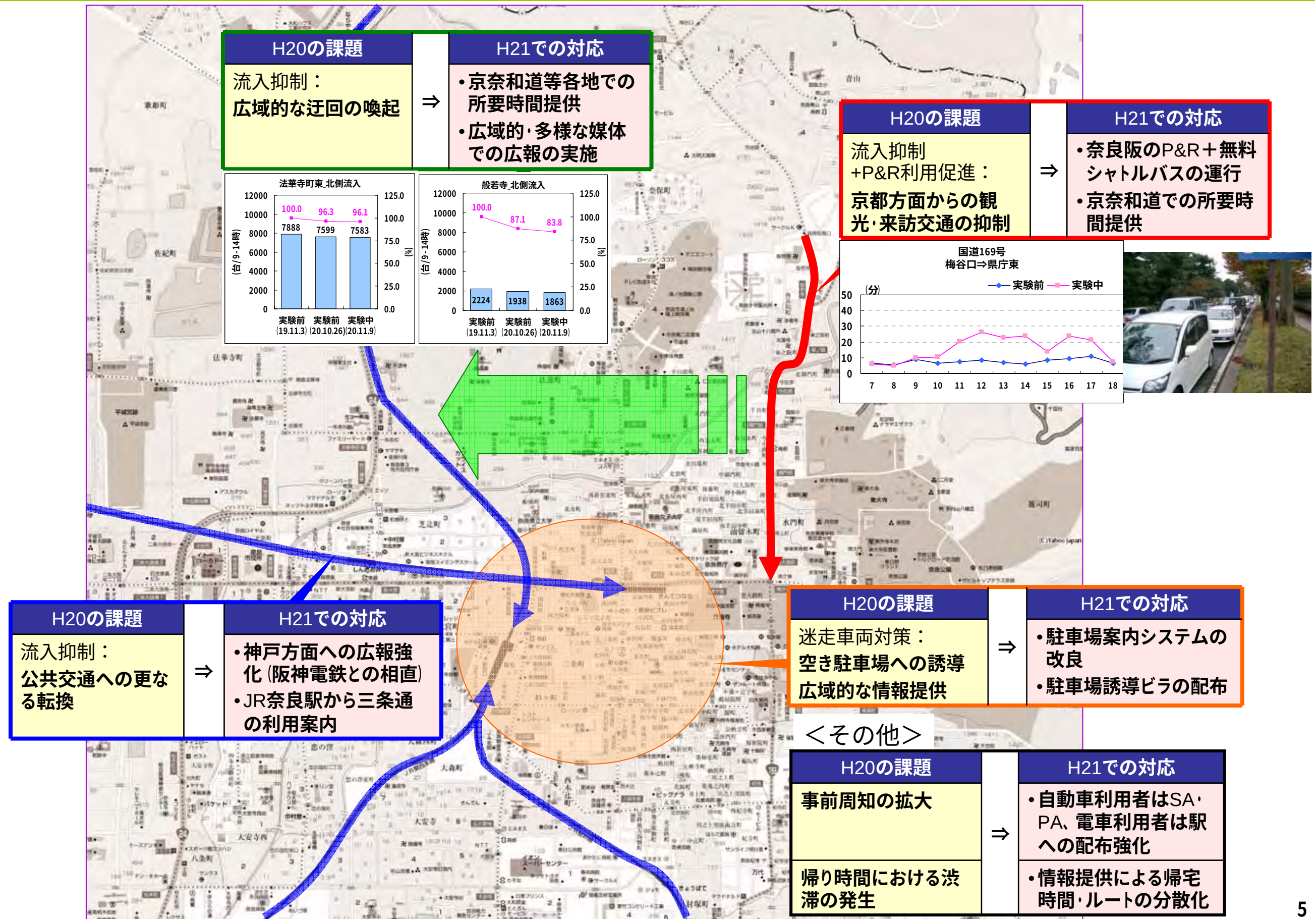
【誘導媒体】道路上設置看板、LED情報板、電光掲示板



平成20年度社会実験の効果検証の総括

	誘導ステップ	効果検証の視点	効果	課題	H21実施に向けて検討する内容
来訪交通	STEP1 公共交通等への転換誘導	公共交通への転換	○事前周知が効果的 ○周遊バスが効果的	○事前周知の拡大 ○公共交通への更なる転換	○効果的な広報の検討 ○ITSの活用
	STEP2 P&R駐車場への誘導	P&R利用促進に効果的な情報提供	○事前周知と案内看板が効果的 ○周遊バス運行が効果的	○奈良県、京都府からの観光客の利用率が低く、南北方面からの観光交通の抑制が必要	○北・南方向のP & Rの検討 ○ITSの活用
		シャトルバスサービスに関する検証	○シャトルバス運行は中心部流入抑制効果大きい	○帰宅ピーク時におけるシャトルバスの遅れの縮減	○シャトルバスの運行・定時性の検討 ・ルートの検討
	STEP3 奈良公園周辺の駐車場への誘導	空き駐車場への案内	○駐車場満空情報が効果的	○駐車場直近ではなく、広域的な駐車場情報提供が必要	○駐車場案内システムの改良 ○ITSの活用
通過交通	STEP1 国道24号等への迂回喚起	通過交通の抑制に資する迂回案内	○県庁東交差点周辺について迂回交通が発生	○渋滞区間直近での迂回が多く、広域的な迂回をさらに増やすことが必要 ○県庁東交差点北方向の渋滞への対応	○広域的に迂回させるための誘導方法の検討 ○ITSの活用
	STEP2 県庁東交差点の迂回喚起				

平成20年度社会実験の効果検証の総括



本年度社会実験実施に向けた検討内容

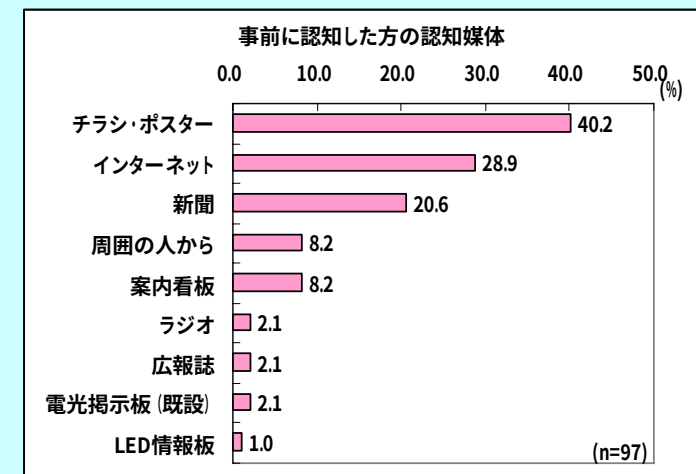
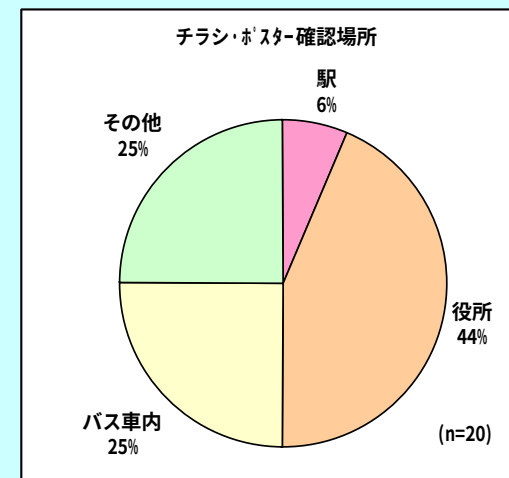
	誘導ステップ	効果検証の視点	H21実施に向けて検討する内容	H21社会実験で実施する内容
来訪交通	STEP1 公共交通等への転換誘導	公共交通への転換	○効果的な広報の検討 ○ITSの活用	・神戸方面への広報の強化 ・奈良公園へのアクセスとして三条通りの案内
	STEP2 P&R駐車場への誘導	利用促進に効果的な情報提供	○北・南方向のP & Rの検討 ○ITSの活用	・奈良阪P & R駐車場設置 ・無料シャトルバス運行
		シャトルバスサービスに関する検証	○シャトルバスの運行 ・定時性の検討 ・ルートの検討	・P&R駐車場から県庁まで直行運行（過年度と逆周り） ・運行間隔の短縮（15分に1本）
	STEP3 奈良公園周辺の駐車場への誘導	空き駐車場への案内	○駐車場案内システムのわかりやすさ向上 ○ITSの活用	・駐車場案内システムの改良
通過交通	STEP1 国道24号等への迂回喚起	通過交通の抑制に資する迂回案内	○広域的に迂回させるための誘導方法の検討 ○ITSの活用	・京奈和道での所要時間提供 ・帰宅時における主要地点までの所要時間情報の提供・帰宅ルートの案内
	STEP2 県庁東交差点の迂回喚起			

来訪交通の交通誘導計画

STEP1 公共交通等への転換誘導

H20実験での成果・課題

成果: チラシ・ポスターは事前認知媒体として効果的
 課題: 駅への配布が少なかったため、駅で確認した割合が低い
 ⇒ 駅など利用者の多い箇所における広報展開が必要
 ⇒ 近鉄・阪神の相互運行を踏まえ、阪神駅での広報が必要



H21実験での対応

<チラシ・ポスター配布>

阪神・近鉄・JR駅に配置するとともに、公共交通利用者用のチラシを作成

パターン	内容	配布場所	枚数
公共交通用	公園内周遊情報	駅・役所等	約9万枚

<インターネット>

わかりやすいホームページを立ち上げるとともに、観光施設や行政など、多くのホームページにリンク付けを実施



H21実験での検証のポイント

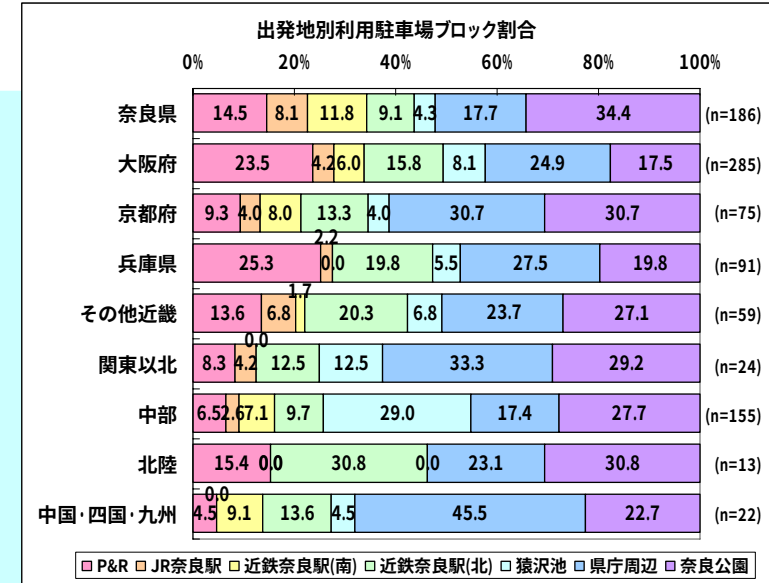
◆公共交通への転換に効果的な情報は何か？

- ・公共交通利用者は増加したか？
- ・実験周知による公共交通への転換状況は？
- ・効果的な情報内容・掲示場所は？

STEP2 P&BR駐車場への誘導

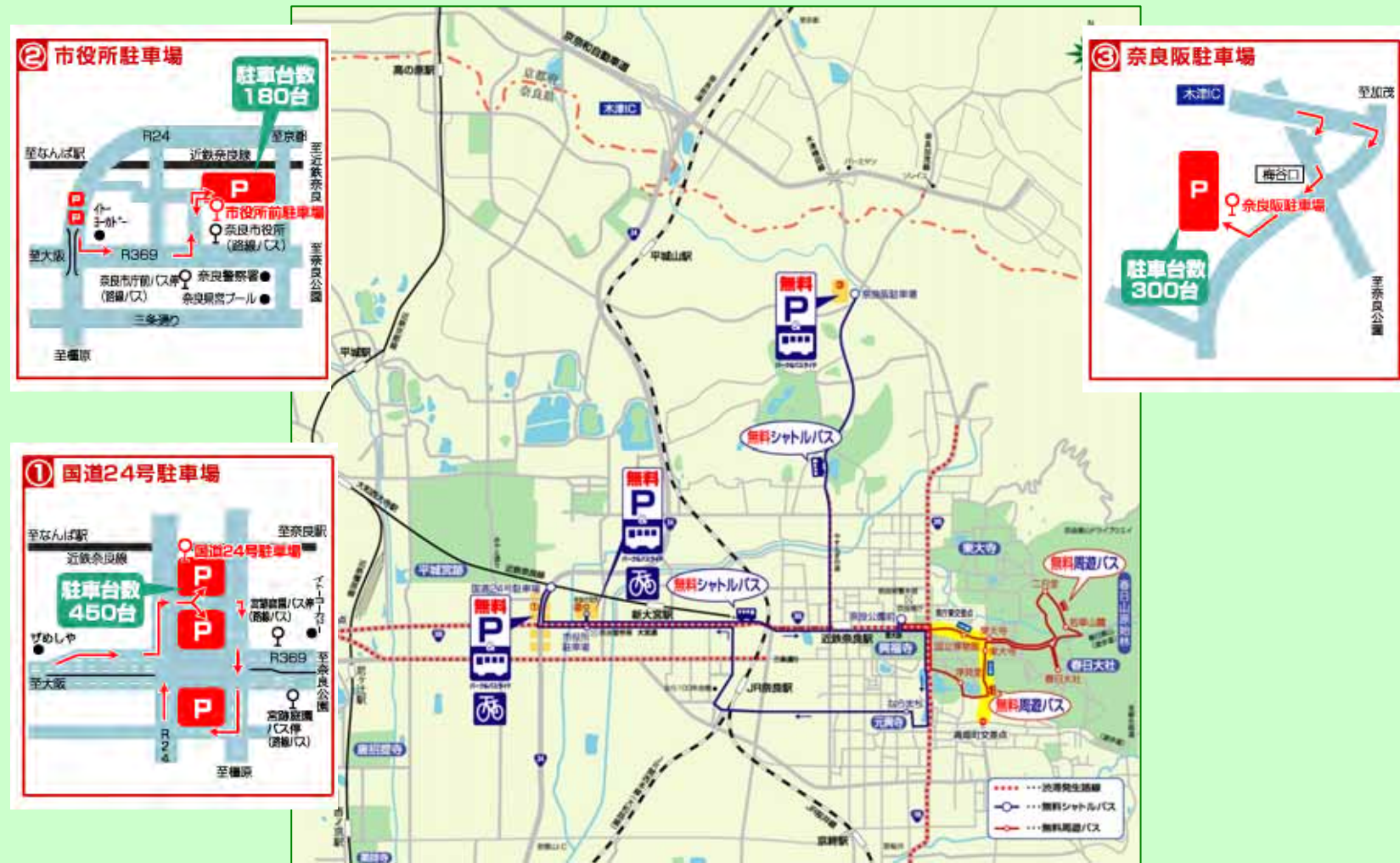
H20実験での課題

成果:大阪・兵庫方面からの来訪者については、P&R利用率が向上
 課題:奈良県・京都府の方のP&R利用が非常に少ない
 ⇒南北方面からの迂回案内の充実、新規P&R駐車場の確保が必要



H21実験での対応

国道24号高架下・市役所に加え、京都方面来訪交通をターゲットとしてP&R駐車場を設置し、さらに、県庁までの無料シャトルバスを運行することにより、P & B R利用を促進



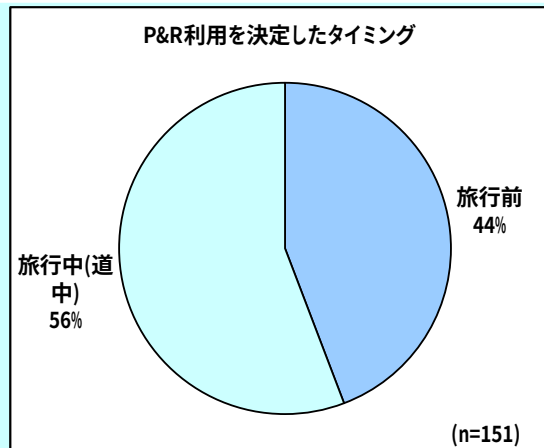
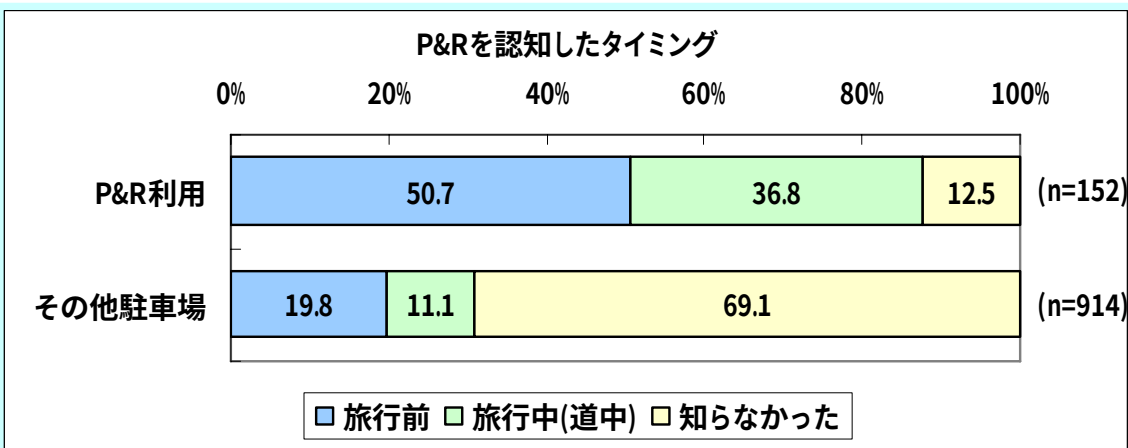
H21実験での検証のポイント

- ◆P&R利用促進に効果的な駐車場サービスは？
- ・P&R利用促進に有効な駐車場の場所・必要なサービスは？
- ・P&Rに対する支払い意向、のぞましい料金収集方法は？
- ・シャトルバス運行に必要なサービスは？

STEP2 P&BR駐車場への誘導

H20実験での課題

成果：P&R認知度が高くなれば、
P&R利用も向上
課題：全体としては、P&R認知が低い
⇒P&R実施の認知度を高めることが必要



H21実験での対応

P&R実施の認知度を高めるために、道路利用者に対して、種々の媒体による広報を実施。

<チラシ・ポスター配布>

- ・P&Rを特だしたチラシ・ポスターをSA等に設置

パターン	内容	配布場所	枚数
自動車用	P&R実施情報	SA/PA・道の駅等	約4万枚



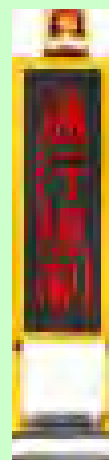
<道路情報板>

- ・西名阪以北の県内の道路情報板で実験1週間前より情報提供

奈良公園道社会実験
10/31、11/1・3
9～17時 交通規制
パーク&ライド駐車場
ご利用下さい

<LED情報板>

- ・市内各地をLED情報板により所要時間情報を提供。
- ・案内看板との組み合わせにより、P&R利用を促進



情報内容	
通常時	「奈良公園／交通規制／P&R／無料」
混雑時	「県庁まで／〇分／P&R／無料」

<案内看板>

- ・実験3週間前より設置
- ・実験日は駐車場近くで誘導看板を追加



H21実験での検証のポイント

◆P&R利用促進に効果的な情報提供は？

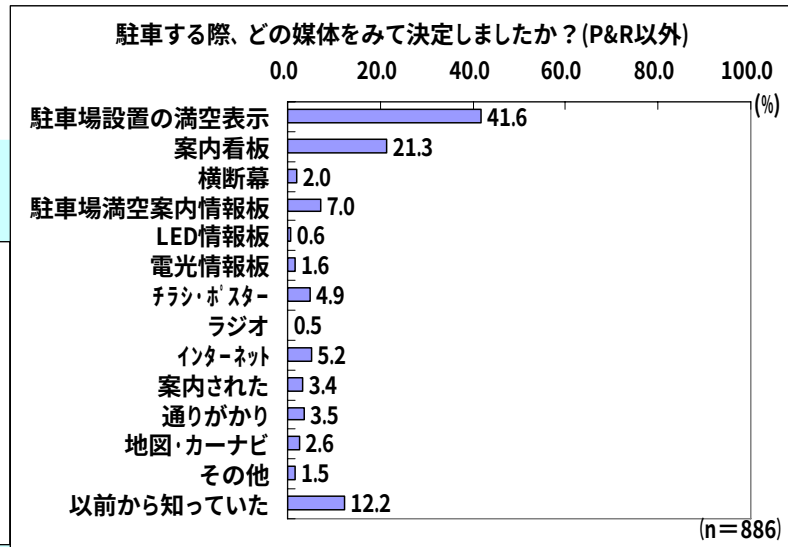
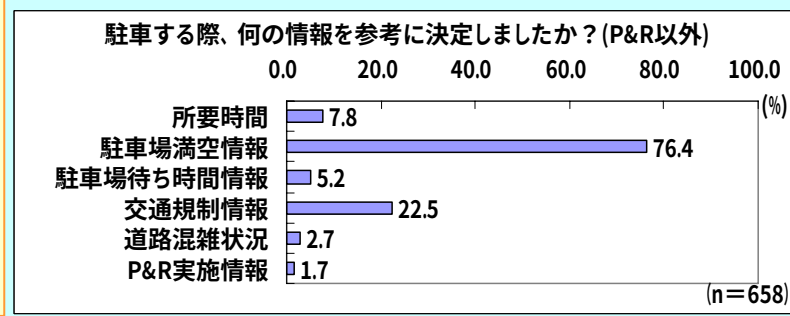
- ・駐車場選択時に必要な情報は？
- ・P&R利用促進に有効な情報内容
- ・媒体は？

STEP3 奈良公園周辺の駐車場への誘導

H20実験での課題

成果: 駐車場探しに関して、案内看板が効果的であることを確認

課題: 利用者は駐車場設置の駐車場満空情報により、駐車場を決定しているため、満車の場合迷走車両化
 ⇒ 駐車場にたどり着く手前で、駐車場の満空状況を確認させる媒体が必要

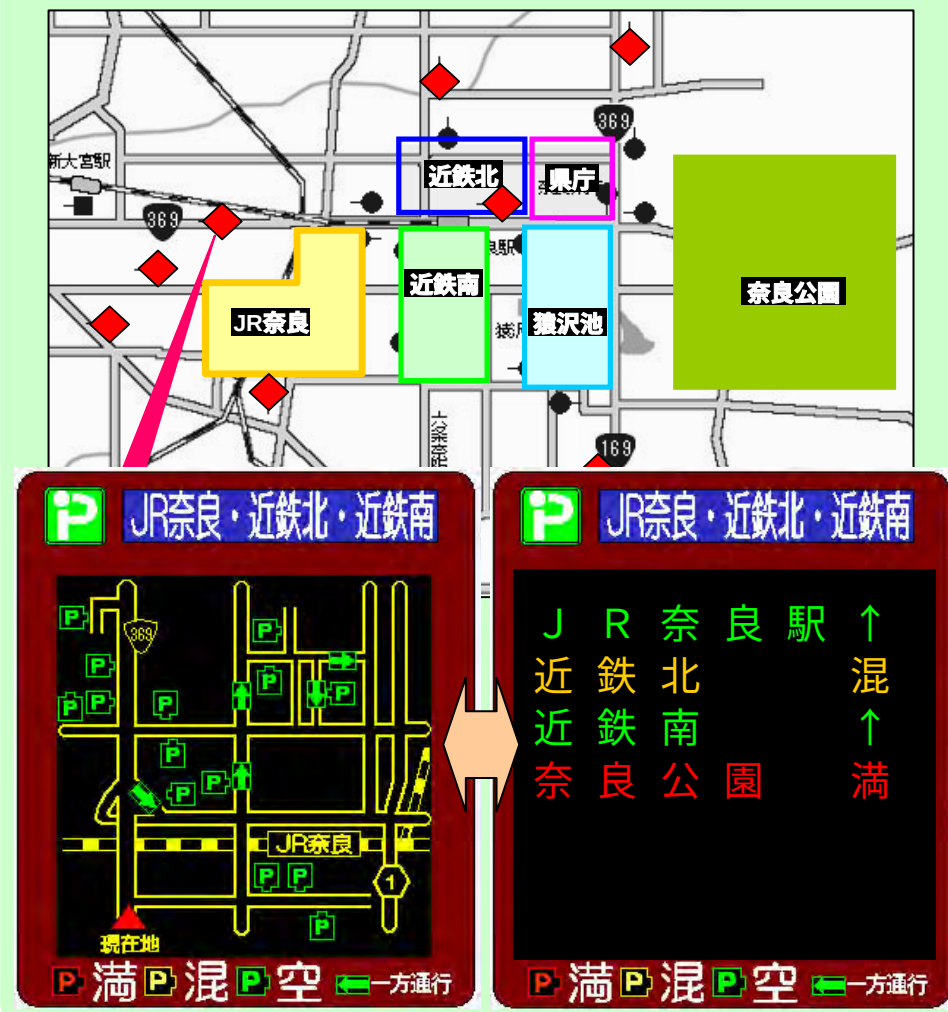


H21実験での対応

奈良公園への自動車での来訪抑制、駐車場利用の分散化を図るために、駐車場満空情報をわかりやすく提供

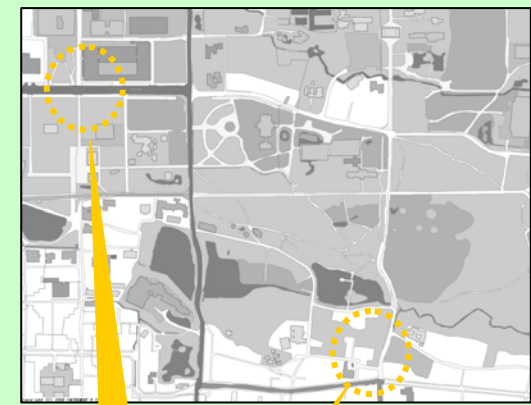
＜駐車場案内システムの改良＞

- ・どここの情報版からも奈良公園の混雑情報およびJR奈良駅周辺駐車場の空き情報を提供



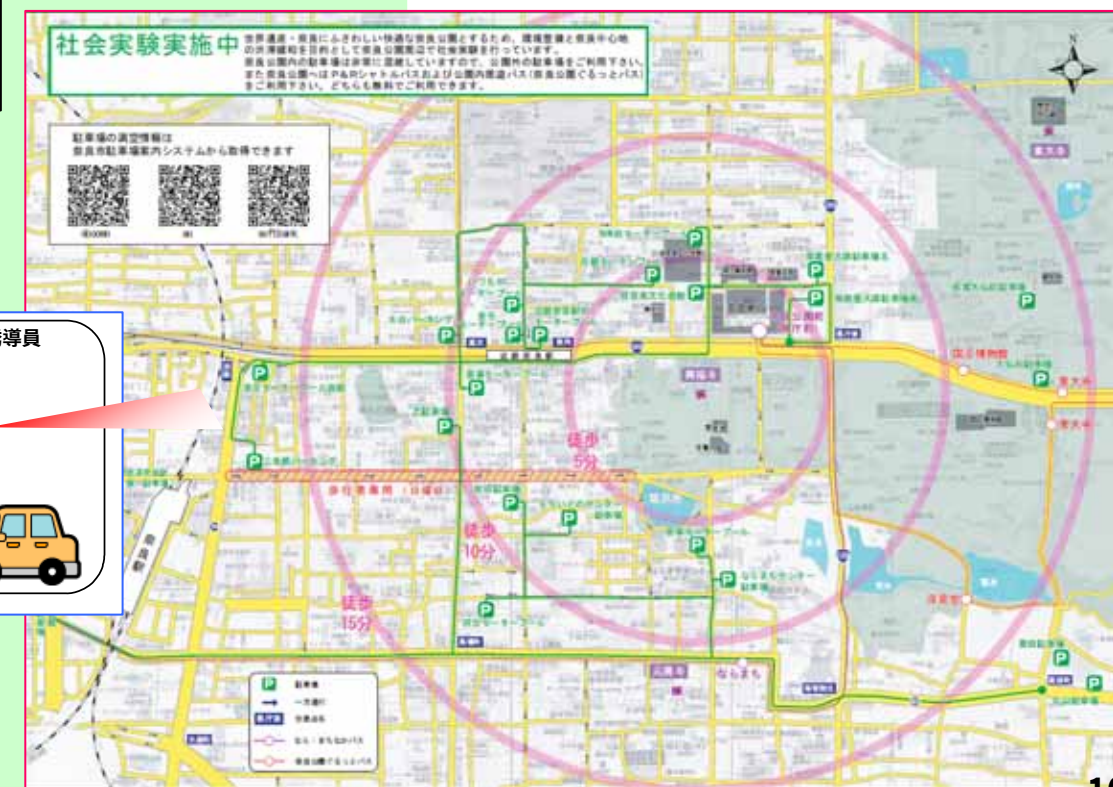
＜空き駐車場誘導ビラの配布＞

- ・駐車場待ち車両に対して、公園外の周辺駐車場の空き情報を提供



H21実験での検証のポイント

- ◆ 空き駐車場への誘導に効果的な情報提供？
- ・ 駐車場選択時に必要な情報は？
- ・ 駐車場の分散化に有効な情報内容は？
- ・ 駐車場案内システムの活用状況は？
- ・ 駐車場利用状況の変化は？
- ・ 迷走車両削減状況は？



帰宅ピーク時対応

H21実験での対応

・帰宅時ピーク時の分散化を図るために、混雑情報を提供するとともに、福智院北一県庁東交差点への集中を抑制するために、帰宅ルート案内



H21実験での検証のポイント

◆帰宅時間・帰宅ルートの分散化に効果的な媒体は？

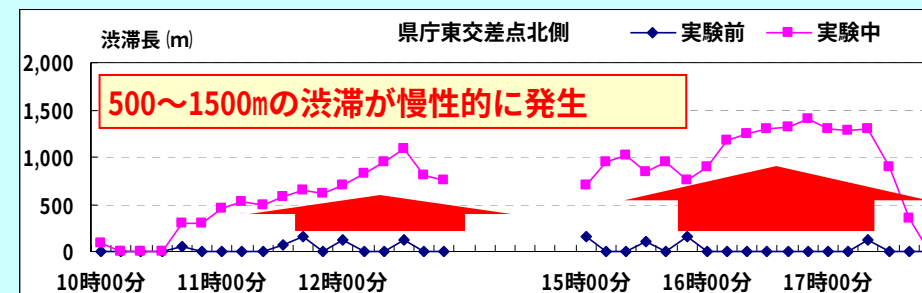
・帰宅時間の決定に必要な情報は？ ・帰宅ルートの変更に必要な情報は？ ・滞在時間を延ばすために必要なことは？

通過交通の交通誘導計画

STEP1 国道24号等への迂回喚起

H20実験での課題

成果: 種々の情報提供により県庁東交差点周辺での迂回は発生
 課題: 広域的な迂回は生じず、県庁東交差点を起点に北方向に大規模な渋滞が発生
 ⇒ 通過交通についても広域的に迂回させることが必要



H21実験での対応

木津ICや大宮通などの要所において、LED情報板によりリアルタイム所要時間情報を提供、JARTICラジオにより、奈良県内・大阪府内・京都府内において、実験実施情報、混雑情報を提供

<木津ICでの所要時間情報板>



・木津IC手前にて、R24号利用とR369号(公園前道路)利用での所要時間情報を提供



<ゴルフ場等での情報掲示板設置>

・ゴルフ場での掲示および国道369号と木津横田線の交差点にLEDを設置



H21実験での検証のポイント

◆ 通過交通の広域的な迂回喚起に有効な情報は？

- ・通過交通量の変化は？
- ・通過交通の迂回に有効な情報内容・提供場所は？
- ・公園周辺路線を通過しないための必要条件は？
- ・路上における情報提供と交通量の変化の関係は？

STEP2 県庁東交差点の迂回喚起

・奈良公園周辺道路における負荷の軽減を図るために、案内看板および道路情報板、LED情報板により、迂回喚起を図る

＜県庁東交差点周辺での迂回喚起方法＞

H20と同様

・道路上看板



・道路情報板

【通常時】

奈良公園道
社会実験
交通規制中

交互表示

パーク&ライド
無料駐車場
開設中

奈良公園 交通規制
9～17時
県庁東進入禁止

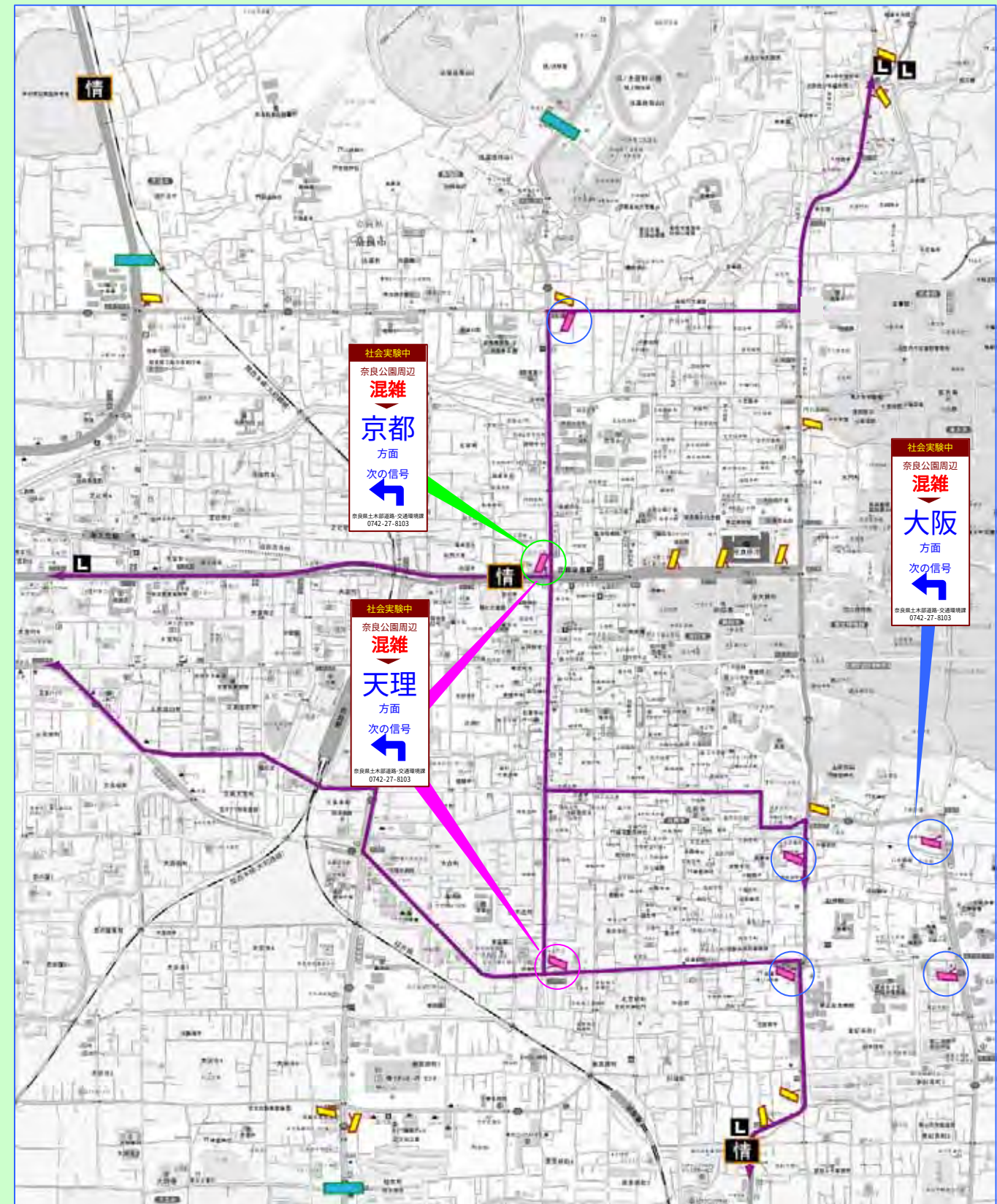
【混雑時】

奈良公園
周辺道路
渋滞

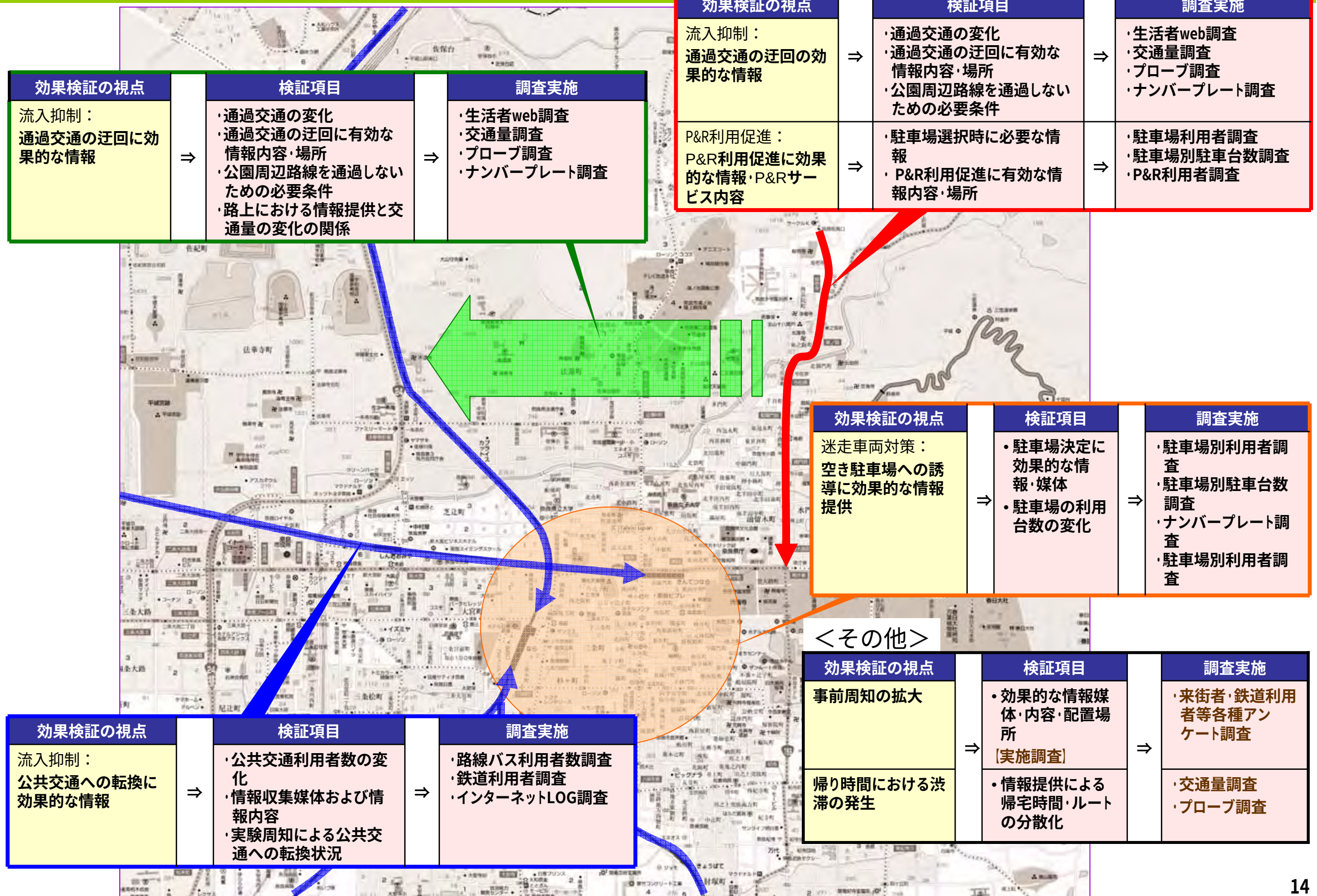
交互表示

パーク&ライド
無料駐車場
開設中

奈良公園 交通規制
9～17時
県庁東進入禁止
周辺道路渋滞中



施策実施による効果の検証



奈良公園交通社会実験の実施

実験日:10/31 (土)・11/1 (日)・3 (火 (祝))

～なら公園の魅力向上について～

参考 “奈良公園の魅力向上” の基本的考え方

[基本コンセプト]

- 車両の進入抑制
- 歩行者空間の拡大
- 周遊観光の促進



徒歩



路線バス



郊外P&R



シャトルバス



レンタサイクル



参考 平成20年度社会実験の効果検証の総括（奈良公園の魅力向上）

	誘導ステップ	効果検証の視点	効果	課題	H21実施に向けて検討する内容
公園らしい雰囲気 の醸成	奈良公園への 流入交通の抑制	交通規制	○通行規制に対する高い評価	○規制の向きなどについて地元との合意形成 ○更なる流入抑制	○地元との合意形成 ○一方通行規制の逆方向での実施 ○奈良公園内の総合交通計画の検討
		エリア1周辺への影響	○県庁東交差点から北方向以外には大きな影響がない	○県庁東交差点から北方向に渋滞が発生	○北方向のP & Rの検討 ○北方向の渋滞原因の調査
	歩行者空間の創出	歩行者支援	○仮歩道の設置により、安全性、にぎわいが向上	○乱横断の防止 ○地下道への誘導	○継続実施に向けた地元との合意
回遊性の向上	周遊バスの運行	周遊観光	○周遊バスにより若草山麓等への周遊拡大	○周遊バスの実用化、恒久実施に向けたサービスの検討（料金、ルート）	○周遊バスの運行・ルート、料金の検討 ○環境にやさしい交通手段の是非
	新たな周遊交通手段の導入				

参考 平成20年度社会実験の効果検証の総括（奈良公園の魅力向上）



参考 奈良公園の魅力向上に関する本年度社会実験実施に向けた検討内容

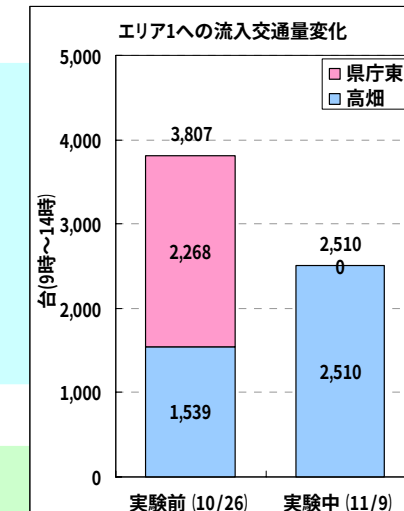
	誘導ステップ	効果検証の視点	H21実施に向けて検討する内容	H21実験で実施する内容
公園らしい雰囲気醸成	奈良公園への流入交通の抑制	交通規制	○地元との合意形成 ○奈良公園内の総合交通計画の検討	○地元ニュースレターの配布 ○時計回り方向(県庁東→大仏前→高畑)での交通規制の実施
		エリア1周辺への影響	○北方向のP & Rの検討 ○北方向の渋滞原因の調査	○奈良阪でのP&R駐車場の開設(+無料シャトルバスの運行) ○所要時間情報の提供 ○時計回り方向での交通規制の実施
	歩行者空間の創出	歩行者支援	○継続実施に向けた地元との合意	○地元ニュースレターの配布 ○飛火野地区(大仏前～高畑)における仮歩道の設置
回遊性の向上	周遊バスの運行	周遊観光	○周遊バスの運行・ルート、料金の検討 ○環境にやさしい交通手段の是非	○電気バスの運行 ○電動バイクの無料レンタル
	新たな周遊交通手段の導入			

公園らしい雰囲気の醸成

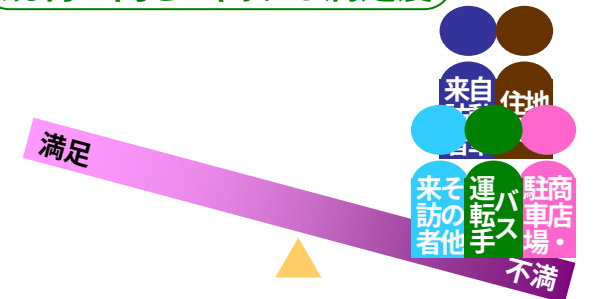
奈良公園への流入交通の抑制

H20実験での課題

成果: 一方通行規制により公園への流入交通は減少
課題: 県庁東交差点を起点に北方向に大規模な渋滞が発生
 一方通行規制について地元との合意形成
 ⇒北方向への渋滞を緩和するとともに、一方通行規制方向の逆方向での実施



規制の向きに関する満足度



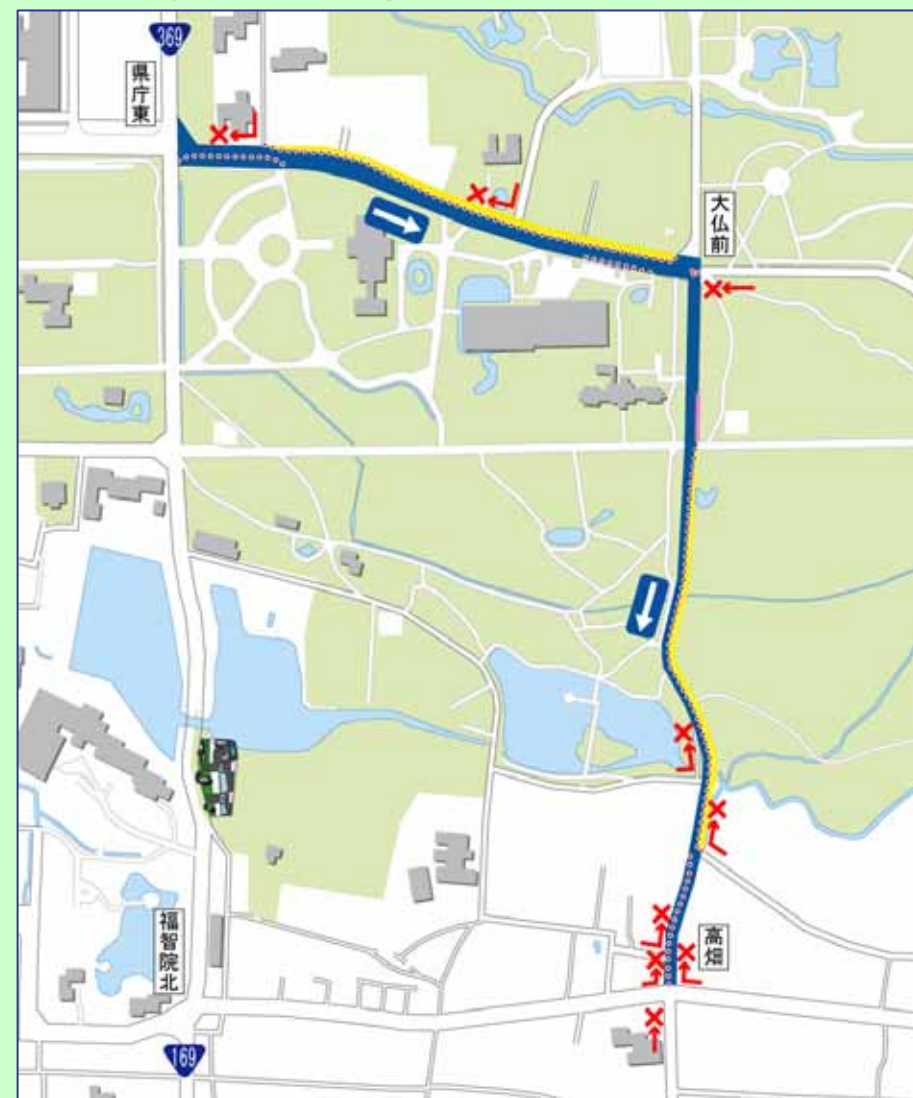
【不満足な声】

- ・遠回り過ぎる (その他来訪者)
- ・駐車場への誘導がしづらくなったので、逆周りでなければ反対 (商店・駐車場)
- ・公園内の駐車場に駐車しづらくなって不便 (自動車来訪者)

H21実験での対応

奈良阪にP&R駐車場を開設するとともに、一方通行規制方向をH20年度との逆方向にして実施
 地元の理解を高めるために、地元を対象としてニュースレターを配布

<一方通行規制の実施>



<ニュースレターの配布>

奈良公園 創刊号
社会実験 ニュースペーパー

今年も社会実験を行います！

奈良公園の魅力向上や渋滞対策に向けて、奈良県では昨年 11 月に社会実験を実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。
 昨年の社会実験を踏まえ、さらなる向上を図るため、今年も秋頃を目処に、社会実験を実施することになりました。
 今年度の社会実験におきましても、みなさまのご理解、ご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

奈良公園の魅力向上や渋滞対策に向けての社会実験ってなに？

現在、こんな問題が発生しています

- ・歩道が無い箇所、歩行者のすぐそばを車が通って危ない。
- ・奈良公園のまわりにはたくさんの観光資源があるが、歩いてまわるには遠い。
- ・奈良公園を中心に渋滞が発生し、公園の環境を損ねている。

こんな公園にしたいと考えています

- ・誰もが十分に楽しめる魅力的な空間としたい！
- ・渋滞を解消することにより、観光都市「奈良」としての魅力を向上させたい！

社会実験の実施による検証
 新たな施策を実験的に導入することによって、その効果を検証するとともに、問題点や課題を把握します。実験を通して地域住民の方との意見交換ならびに施策の周知と合意形成を行います。

●次回発行予定：9月中旬
 ●次回内容：社会実験の実施内容

お問合せ先：奈良県 土木部 道路・交通環境課
 電話 0742-22-1101(代表) FAX 0742-27-5339

H21実験での検証のポイント

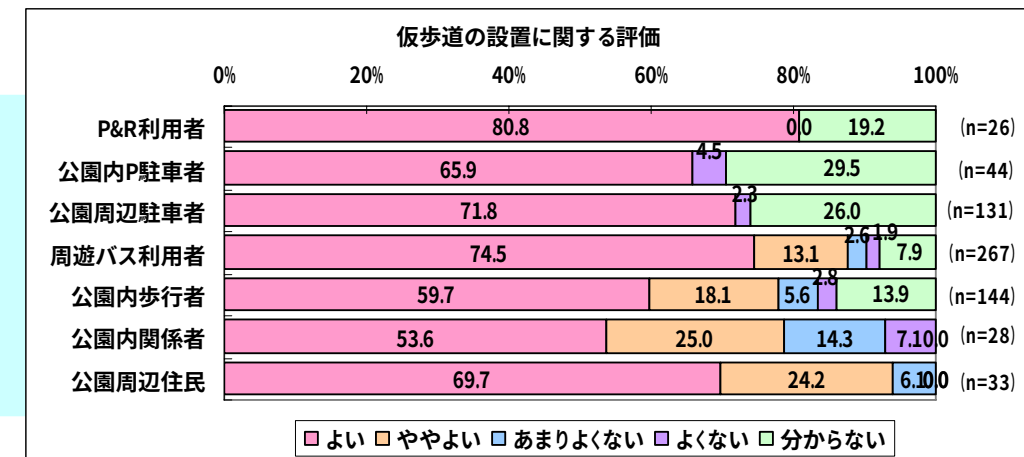
- ◆一方通行規制の向きに関する検証
 - ・公共交通による公園へのアクセス
 - ・公園内の交通状況
 - ・公園内の結節点の評価 (バス停、タクシー乗場)
 - ・沿道施設との出入り
 - ・周辺交通への規制による影響
 - ・公園空間の向上に関する満足度

歩行者空間の創出

H20実験での課題

成果：仮歩道設置による満足度は非常に高い

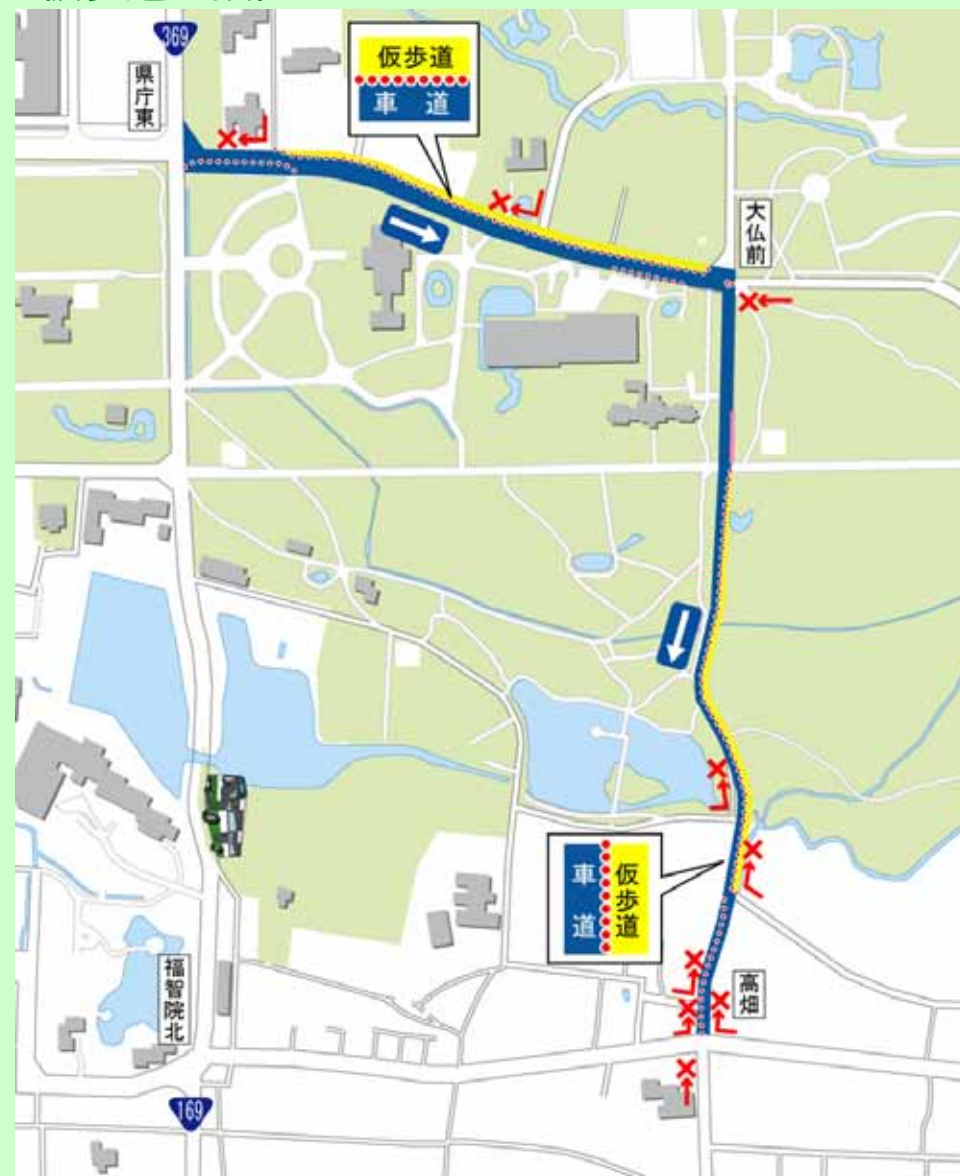
課題：乱横断が増加、大仏前～高畑の歩道未整備区間での歩行者への対応
⇒大仏前～高畑における仮歩道の設置



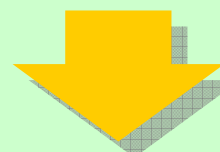
H21実験での対応

公園内道路の歩道片側整備区間に仮歩道を設置
本年度は、県庁東-大仏前間に加え、大仏前-高畑間においても設置

<仮歩道の設置>



自動車の脇を通行する歩行者



仮歩道設置状況
(昨年度実験期間)

H21実験での検証のポイント

◆仮歩道設置による安全性・快適性の変化は？

- ・仮歩道に関する課題の把握
- ・歩行者動線の変化

■回遊性の向上

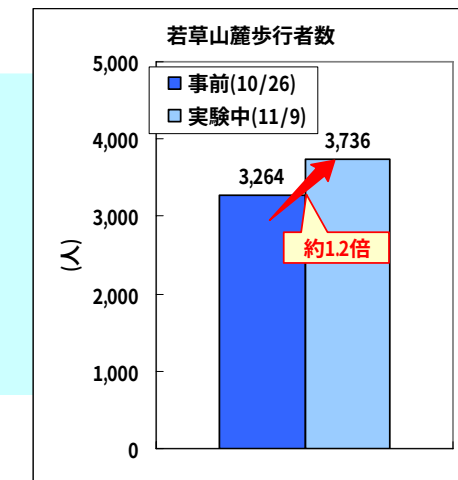
周遊バスの運行

H20実験での課題

成果: 若草山麓など公園内歩行者数は増加

課題: 周遊バスの実用化、恒久実施に向けたサービスの検討

⇒実用化、恒久実施に向けた料金やルートなどのサービスなどの再検討が必要



H21実験での対応

- ・公園内の周遊観光の拡大を図ることを目的に、無料周遊バスを運行

<周遊バス運行概要>

・運行時間: 9:00~17:00

(約10分間隔で運行)

・バス車両数

電気バス: 2台、小型路線バス: 3台

電気バス (早稲田大学)



H21実験での検証のポイント

◆周遊観光の拡大状況は？

- ・周遊バスによる観光特性の変化
- ・周遊バスでカバーする観光エリア
- ・来訪交通手段別の観光特性の違い
- ・回遊性に関する満足度

新たな周遊交通手段の導入

H21実験での対応

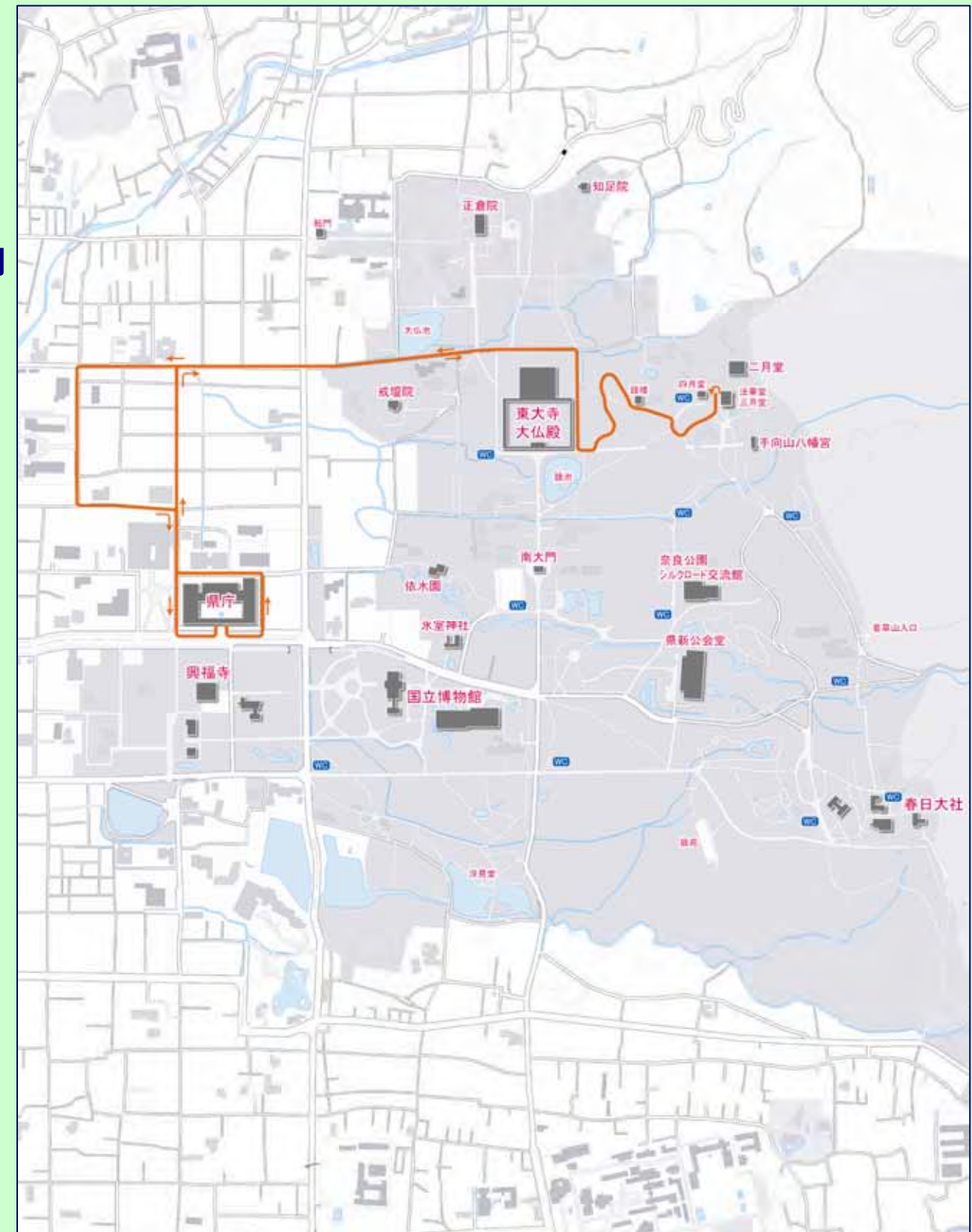
公園内での新たな移動手段として、エコな乗り物“ゆっくり電動車（電動バイク）”を無料レンタル

貸し出し概要

- ・レンタル日: 10/31 (土)、11/1 (日)、11/3 (火) 9:00～17:00
- ・レンタル箇所: 県庁噴水広場本部
- ・台数: 20台
- ・運営主体: GSユアサ パワー・サプライ
- ・貸し出し方法:
免許保有状況を確認した上で、左図で示す赤線部分のみの利用
(ヘルメット貸し出し、保険加入、左図に注意事項等を記した
チラシ配布)

電動バイクの仕様

- ・速度: 時速10km
- ・燃料: Liイオン電池
(1充電で約20km走行、100Vコンセントで充電)
- ・法的扱い: 第1種原動機付自転車、1人乗り、ヘルメット着用
- ・その他: 前後輪駆動で坂道もしっかり (最大登坂角12°)、
20インチタイヤ
側輪固定で、駐停車、荷物搭載が楽



効果検証の視点		検証項目		実施調査
交通規制： エリア1周辺への 影響	⇒	・渋滞状況の変化 ・迂回交通の発生状況	⇒	・交通量・渋滞長調査 ・ナンバープレート調査

効果検証の視点		検証項目		実施調査
交通規制： 一方通行規制の 向きに関する検証	⇒	・公共交通による公園へのアクセス ・公園内の交通状況 ・公園内の結節点の評価 ・沿道施設との出入り ・公園空間の向上に関する満足度	⇒	・公園来訪者調査 ・タクシー・路線バス利用者調査 ・生活者調査 ・交通量調査 ・駐車場利用状況調査など



効果検証の視点		検証項目		実施調査
歩行空間確保： 歩行者支援	⇒	・仮歩道に関する課題の把握 ・歩行者動線の変化	⇒	・公園来訪者調査 ・歩行者数調査 ・商店・観光施設調査

効果検証の視点		検証項目		実施調査
回遊性向上： 周遊観光の拡大	⇒	・周遊バスによる観光特性の変化 ・周遊バスでカバーする観光エリア ・来訪交通手段別の観光特性の違い ・回遊性に関する満足度	⇒	・公園来訪者調査 ・周遊バス利用者調査 ・歩行者数調査 ・商店・観光施設調査